

2022年(令和4年)
4月1日 金曜日
第1878号

京都自動車新聞



2
4
5
6
8
京ト協 荷主関係の広報にも注力
京整振が理事会で事業計画可決
舞鶴で中古車の不正転売事案
京自販 代表者会議でコンプラ講習
◀ K C A A 京都 年度末商戦

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp https://kyotojidoshanp.jp

追跡 データベース

— 東京商工リサーチ編 —

倒産数、4カ月ぶり増

2月 コロナ破綻なお増勢へ

2月の負債額1000 未満が全体の87.3%を占めた。産業別では、サービス業が159件と、引き続き10カテゴリー中最多で推移し、9カ月ぶりに前年比で増加。建設業、製造業、農・林・漁・鉱業、情報通信業も増加し、卸売業、不動産業、運輸業は減少に転じた。このほかの2産業は業の倒産で、従業員10人

産業	倒産件数	
	2月	前年同月比(増率)
農・林・漁・鉱業	8	300.0%
建設業	80	9.58%
製造業	52	10.63%
卸売業	61	▲25.6%
小売業	51	▲3.77%
金融・保険業	0	▲100.0%
不動産業	11	▲42.1%
運輸業	16	▲23.8%
情報通信業	21	10.52%
サービス業ほか	159	23.25%
合計	459	2.91%

低減状況を保った。一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、3月29日現在で3150件に上った。京都は前月から6件増え53件。一昨年の秋を境に再び増勢が突出し、建設業、アパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の4業種がこれに続く状況は変わらない。「まん延防止等重点措置」が全地域で解除され、消費関連産業で期待値は高まるものの、運転資金の調達やアフターコロナを見越した業態の見直しという次なる課題が事業者に突き付けられている。企業支援は引き続き拡充される方向だが、業績不振の長期化で過剰債務に陥る企業は増加の一途をたどっている。



6日から春の全国交安運動

歩行者保護や飲酒運転根絶など重点

春の全国交通安全運動が6日から15日までの10日間、展開される。京都府交通対策協議会(西脇隆俊会長、府知事)では「あげた手に 笑顔で止まる 京の春」を運動スローガンに設定。5日は京都市左京区の岡崎プロムナードでスタート式を開き、事故防止に向けた機運醸成を図るほか、府内各地でも期間中、交通安全に関するさまざまな取り組みを予定する。京都府高速道路交通安全連絡協議会(荒木律也会長)も6日、春季交通安全講習会を実施し、会員企業の安全意識高揚につなげる。

重点項目は①子どもをはじめとする歩行者の安全確保②歩行者保護や飲酒運転根絶等への安全意識向上③自転車の交通ルール順守の徹底と安全確保④二輪車の安全利用の推進(一四)。

歩行者に対し横断歩道の通行や横断禁止場所の横断禁止、信号順守など歩行者自身の安全を確保するために交通ルールを守るよう呼び掛ける。高齢者には安全な交通行動を実践するための参加・体験・実践型の交通安全教育を通じ、加齢に伴う身体機能の変化を理解してもらうよう努める。

また、運転者にも横断歩道手前での減速義務と横断歩道における歩行者の優先義務の徹底を促す

京整商が監理事業を拡大

塗装職種での起用も

京都府自動車整備商工組合(城谷忠理事長)の外国人技能実習生の監理事業が今年、新たな局面を迎える。フィリピン人の実習生を監理対象に加えたほか、「塗装職種」で来日するカンボジア人もサポートできるよう事業内容を改めた。京整商は、これらの変更を受け入れの門戸を広げ、実習生の質・量の向上に結び付けたい考え。中国の大量受け入れによってアジア圏が実習生不足に陥るリスクを早期に問題視し、先手を打った格好だ。

全国版図柄ナンバー

京都でも受付開始

全国各地で咲く花をモチーフとした全国版図柄入りナンバープレートの受け付けが3月22日、京都でも始まった。(5面に関連記事)

交付は4月18日から開始し、2027年4月30日終了。通常、交付に要する日数は予約確定から12営業日だが、当面は予約確定した週によって20営業日を上限に変動する。

京都では、3月28日午前10時現在で35件の申し込みがあった。ナンバーを取り扱う京都府自動車整備振興会の標板交付課は「まずまずの立ち上がり。図柄ナンバーはこれまで、特に軽自動車ユーザーから好まれる傾向にあった。幅広い方々に付けてほしい」としている。

とともに、妨害運転の悪質性・危険性、運転中のスマートフォン(スマホ)使用時の危険性を周知、指導していく。自転車に対しては、自転車安全利用5則に定める通行ルールの順守や、傘差しなど片手運転、運転中のイヤホン・スマホ使用時の危険性を訴える。

京都府警察がホームページ上で公開している1月末における交通事故状況は、発生件数が315件と前年同期に比べ14件減(4.3%減)。死亡事故は5件と1件減(16.7%減)、死者数5人で1人減(16.7%減)といずれも減少。一方、負傷者数が373人と5人増(1.4%増)となっている。なお、死者5人のうち4人が高齢者で、2人は道路横断中に事故に遭っている。

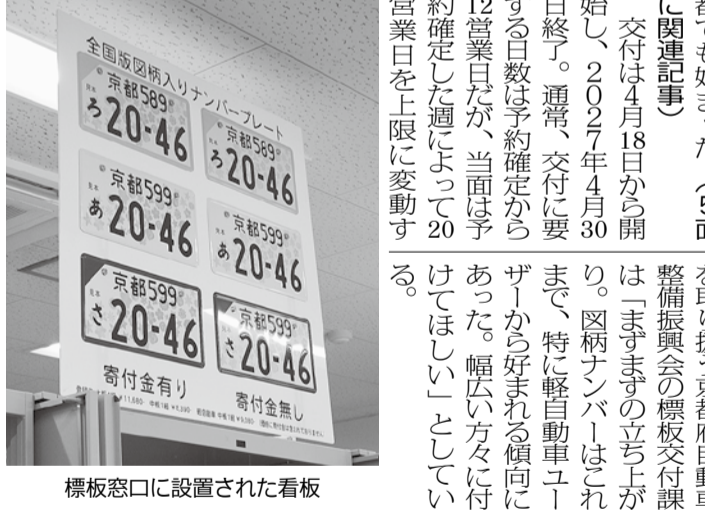
全国的な死者数は183人と15人減(7.6%減)。

フィリピン人材受け入れ

畿管内には兵庫県が7人(前年同期比2人減)と最多。次いで京都府と大阪府の5人。

いずれも、すでに外国人技能実習機構の許可を受けており、運用に向けた準備を進めている。フィリピン人材の送り出しを担うのは、三晃エンプロイメントソリューションズ。訓練校卒で若年層が多いカンボジア実習生に対し、フィリピンは平均年齢が10歳ほど高く、相対的に海外実習の経験も豊かで、現場の指導係としても起用できるといふ。京整商は今後、現地に赴き、フィリピン人材の特性を慎重に見定めた上で、夏ごろには府内事業場への配属に向け、動きを本格化させる構え。

一方、「塗装職種」での実習生の受け入れは、钣金塗装業務での採用を想定したもの。車体整備業者でも京整商組合員であれば利用できる。京整商は19年に監理団体として認可され、以降カンボジア人材を多方面からサポートしている。



標板窓口に設置された看板

ブロードリーフの新しいクラウドはじまる

らくらく導入、かんたん操作。
『日常業務の効率化』をサポート!

- PC、タブレット、スマホ対応
- 必要な機能を自由に組み合わせ
- 月額契約のサブスク対応

顧客・車両・履歴管理 | 伝票作成業務 | 顧客アプローチ業務

株式会社ブロードリーフ www.broadleaf.co.jp
〒612-8418 京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館5F
TEL 075-661-1050 FAX 075-661-1051